

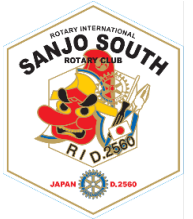


三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2025. 10. 6

室賀信宏ガバナー公式訪問

No.2538 No. 10



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会 長

木村 譲

皆様、こんにちは。

本日は、国際ロータリー第2560地区より、室賀ガバナー、青柳ガバナー補佐、関根地区幹事をお迎えし、公式訪問にようこそおいでいただきました。ありがとうございます。

クラブを代表して心より御礼申し上げます。ようこそおいでくださいました。

本日の公式訪問は、私達のクラブにとって今年度前半の活動の集大成であり、まさに「山場」であると認識しております。ガバナーからのご指導を賜り、後半の活動に弾みをつける貴重な機会と捉え、会員一同、この日を心待ちにしておりました。

本日は、今年度の方針及びこれまでの活動報告をさせていただくとともに、ガバナー、そして皆様から忌憚のないご意見と温かいご指導をいただけますことを楽しみにしております。

本日は内容が盛りだくさんですので会長挨拶は短くなります。短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ◆本日の出席：39名中28名
- ◆先週までの通算出席率：87.21%
- ◆本日のお客様：(ゲスト) 国際ロータリー第2560地区ガバナー室賀信宏様(白根 RC)▷同第四分区分ガバナー補佐青柳修次様(燕 RC)▷同地区副幹事小林亮様(白根 RC)
- ◆メイクアップ：▷9/29 出前授業打ち合わせへ(例会場) 木村譲さん、加藤一芳さん、田中康之さん、吉沢栄一さん、布施純也さん、太田義人さん、木村雅也さん、関博市さん、長谷川直哉さん、藤田寛嗣さん▷9/30 三条北 RC へ佐々木常行さん、松崎孝史さん、丸山智さん、渡辺俊明さん、峰島由紀子さん▷10/4 米山委員長セミナーへ(イタリア軒) 坪井康紀さん、石山昌宏さん▷10/4 赤い羽根共同募金街頭運動へ(ウオロク興野店) 田中康之さん

公式訪問スケジュール

12:00 ガバナー懇談会

(会長・幹事・エレクト・副幹事)

12:25 集合、着席

12:30 ガバナー入場、記念撮影

12:35 開会点鐘

ロータリーソング、お客様紹介、食事の時間

会長挨拶、ニコニコボックス紹介

13:10 室賀信宏ガバナー講話 【30分】

13:40 クラブ協議会フォローアップ・質疑応答

(青柳ガバナー補佐)【20分】

14:00 閉会点鐘 お見送り 解散

ニコニコボックス

10/6 29,000円 今年度累計 187,000円

室賀ガバナー(白根)「BOXに協力します」

青柳補佐(燕)「BOXに協力します」

木村会長「室賀ガバナー、青柳ガバナー補佐、小林地区副幹事、本日はお忙しい中三条南クラブにようこそお出でくださいました。ご指導よろしくお願い申し上げます」

加藤幹事「室賀ガバナーようこそお越し下さいました。ご指導よろしくお願い申し上げます」

吉沢エレクト

「室賀ガバナーようこそお出で頂きました」

布施副幹事

「本日のガバナー訪問ありがとうございます」

坂井さん、大溪さん、田代さん、平松さん、

長谷川さん「室賀ガバナーのご来訪を歓迎いたします」

荒澤さん、渡辺和さん、江花さん、石山さん、

田中さん、関さん、藤田さん

「本日はご指導よろしくお願い致します」

野崎さん、銅冶さん、熊倉さん、永桶さん、

田村さん、桑原さん、廣岡さん

「BOXに協力します」

中村さん「BOXにご協力ありがとうございました」

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッシオ(イタリア)
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)
第4分区分ガバナー補佐 青柳 修次(燕)
会 長 木村 譲
幹 事 加藤 一芳
S A A 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市旭町 2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

室賀信宏ガバナー公式訪問記念講話



33 歳まで東京の大田区蒲田で育ち、会社の月湯村工場に責任者として来たのが新潟に住むきっかけでした。1999 年白根ロータリーに入会し地区委員会出向や白根クラブ内では幹事・会長を経て昨年は第 3 分区のガバナー補佐、今年度第 2560 地区ガバナーを拝命致しました。

本年度は従来の年度毎のスローガンやイメージデザインマーク（ロゴ）をやめて **RI 会長メッセージ**が発表されました。ロータリーは継続性を持って活動しよう「ローリングゴールド」の提唱に沿って各地区にも3年間の目標と計画(3-year Rolling Target/Plan)の策定を求めています。1 月に東京で日本の 34 地区のガバナーエレクトが集まりマリオエレクト会長との懇談会の中でこのことを提言されていました。「よいことのために手を取りあおう～UNITE FOR GOOD～」の説明文の中にあるインパクトとは数値で示すことが可能な結果と捉えてください。

今年度 RI 会長はイタリアのフランチェスコ・アレツツオ氏です。ご存じの通りブラジルのデ・カマルゴ氏がビジネス上の理由と体調面を鑑み会長エレクトの職を辞任するという知らせが6月に報告され、急遽の RI 理事会でアレツツオ氏が選任されました。

ポリオ根絶はロータリアンが世界中の子供たちと交わした約束であります。我々はロータリーの一員としてポリオ根絶に向けてしっかりと足取りで歩むことこれは非常に重要なことであるという風に考えております。

私たちロータリアンが善の心を持って活動し地域社会に良い結果がもたらされる。その変化がまたさらに善の心を持つ行動をする人たちを増やして世の中に善の循環が広まればよいなということを考え、私は第 **2560 地区の目標「ロータリーで善の循環」**を挙げさせていただきました。

アレツツオ RI 会長はロータリーに対して継続性を持った計画的な行動をすることを求めています。それにはクラブ戦略計画の作成を浸透させることが重要です。クラブの**戦略計画**をお作りになりその戦略計画を実行されることを希望しております。

公共イメージの向上は長年の課題となっており、一般の人々にロータリーの活動をしていただくことは改革内のポイントであると考えられます。

あるアンケートでは日本でのロータリーの認知度は約 40%という結果でした。私の体感では 20%はないでしょうか。かたや台湾で同じアンケートを取ると 90%以上の方がロータリーについて知っている、ロータリー活動について聞いたことがあるとの結果です。そして、台湾と日本の会員数と人口との比率を計算すると、日本での5倍の密度でロータリアンが居ることになるとのことです。

みなさんお一人お一人が公共イメージの向上を念頭に、奉仕活動等の際にはロータリーについて広く一般に知っていただくようにしていただきたい。

具体的に言えば、周知の為に幟旗を立てるとか新聞に奉仕活動を報道していただく、また SNS や YouTube などを使ってよりクラブの名前、せめてロータリークラブのこの歯車のロゴだけでも知っていただく等の発信をしていただきたい。

ロータリーファミリーを広げることそしてパートナーシップを広げるとはロータリーの拡大を意味します。各関係団体と手を取り合える奉仕活動を展開していきましょう。

【数値目標】	
1. 会員増強	純増+5%以上
2. ロータリー財団年次基金への寄付	1人150ドル×会員数
3. ポリオプラス基金への寄付	1人30ドル×会員数
4. 年次基金およびポリオプラス基金ゼロクラブゼロの達成	
5. 恒久基金への寄付	ベネファクター 新規認定者1,000ドル以上×10名以上
6. ポール・ハリス・フェロー	新規累計額1,000ドル以上×1クラブ1名以上
7. ポール・ハリス・ソサエティ	新規認定者10名以上
8. ポリオ・プラス・ソサエティ	新規認定者1クラブ1名以上
9. 米山記念奨学金寄付(普通特別寄付合計)	1人¥20,000-×会員数
10. 台北国際大会の地区内参加者	200名以上

地区数値目標を 10 項目を策定致しました。

ポール・ハリス・フェロー、ソサエティについて、フェローとはロータリー財団に累計 1000 米ドル以上の寄付をした人、ソサエティは年間 1000 ドルです。新規認定者 10 名以上と目標を掲げました。現在この 2560 地区では 25 名のメンバーがおります。また、**ポリオプラス・ソサエティ**は年間 100 ドルと達成しやすいものですから是非認定を目指してください。

国際大会への参加者目標を 200 名以上という掲げました。お伝えしたいのは、国際大会に参加すると（私は何回も国際大会に参加していますが）改めて自分が RI の一員であり、世界中に同じ想いでロータリー活動している同志がこんなに沢山いるのだということを自覚できます。是非ご参加ください。たまたま座った隣の人や町でロータリーマークのシャツを着ている人々から来た人に声をかけると気持ちよく挨拶をして言葉を交わしてくれます。そんな体験ができるのがロータリーの国際大会であります。来年以降はドバイ、ミネアポリス、シカゴなどが予定されており、今年度が比較的行きやすい機会となっています。



第 2560 地区の国際共同委員会(ICC)参画への決議を採ったところ 54 クラブ中 41 クラブが賛成され、第 2560 地区は日本の他の地区と一緒に全体のロータリアンが国際共同委員会という形でウクライナのロータリアンに留まらずウクライナの支えになることを決定させていただきました。

分区制について、現在当地区は7つの分区に分かれておりますが、今後は1～4分区を再編成するということを検討着手していかなければならないと考えております。

クラブ協議会フォローアップ

質疑応答（進行役：青柳修次ガバナー補佐）

質問(Q): 分区再編成について。関連してIMの持ち方も変わってくるのでは？

回答(A): IMは必須行事ではなくなりました。今年度は開催しない分区もあります。各々ご検討を。

Q: IMでは他クラブの会員と話す機会があり大変勉強になりました。

A: よかったですね。

Q: ガバナーになって大変だと思ったことは？

A: 今のところ、ありません。毎日楽しいです。

Q: 以前はガバナー訪問に懇親会がつきもので楽しい時間を過ごしたのですが昨今は財政問題や各々のガバナーの方針もあり機会が減りました。このような状態が今後も続くとお考えでしょうか？

A: 年度ごとに判断されたらよろしいかと思います。私自身は全てのクラブを訪問して地区の円滑な運営をお願いするのが一番良いと考えており、誘われたら懇親会も全て参加します。しかしながらあまり呼ばれないのです。残念なことにそんな状況です。

Q: ガバナーと仕事の両立は如何ですか？

A: 自分の時間を作るのも勉強であるとして家庭や会社にもガバナーをやることによって良い循環、まさに地区目標「ロータリーで全の循環を」ができるような行動を考えて行動しています。

Q: ロータリークラブってどんな会なの？と尋ねられたら、ひとことで何と答えられますか？

A: 「世界平和を希求する奉仕団体」と答えます。



🍰 10月のお祝い

🌟 会員誕生

渡辺俊明さん

永橋俊一さん

🌟 配偶者誕生

熊倉高志さんご夫人

大沢秀夫さんご夫人

🌟 結婚記念日

渡辺俊明さんご夫妻

野崎正明さんご夫妻

銅冶康之さんご夫妻

荒澤威彦さんご夫妻

田代徳太郎さんご夫妻

＊おめでとうございます＊



10月25日(土) 26日(日) 地区大会のため
10月27日(月) 振替 ※ 例会はありません
地区大会に出席されない方はメイクアップが必要です。記帳(27日もできます)の他、会議や行事への出席もメイクアップになります

Q: 海外姉妹クラブは地区内何クラブが提携していますか？

A: 海外は姉妹クラブ・友好クラブ併せて16クラブ、現在、糸魚川と燕が検討中です。第四分区では三条RCが台湾新竹城中RCと姉妹クラブとして交流しています。国内同士だと30クラブが提携を結んでいます。

Q: 地区内でも会員減少のため解散するクラブが出てきている。今後はクラブ同士の合併や再編成を考えることもあるのでしょうか？年度毎に地区方針が決まることもある？

A: これはガバナーが代わっても変わりません。各クラブが判断されることで地区やガバナーが物申し上げることではない。RCは「合併」という規程は無く、ひとつのクラブが終結する、ということのみ、です。継続する方法として終結して一緒にいることが話し合えてできるようならすればいいのです。ただし、一人でも反対があるならやめた方がいい、というのが私個人の見解です。

A: ICCに関して、RCは政治的には関与せず人道的に「寄り添う」、目の前に困った人がいるから同じ気持ちで立つ、という解釈で宜しいですか？

Q: その通りだと思います。精神的支柱となる、復興を真摯に考えているという姿勢を示すものです。クラブにも個人にも義務銚制を課すものではありません。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること